

令和5年度労働安全衛生大会（報告）

日時 令和6年3月12日 14時～16時05分

場所 埼玉県民健康センター（大会議室 AB）

参加者数 90名

（1）挨拶

・亀井会長からの主催者挨拶では「埼玉県の労災死傷者数は全国一多く大変厳しい状況だ。」との認識を示し、「この大会が、業界における労働災害撲滅の第一歩となることを期待する。」と述べました。

（2）講演

・埼玉労働局健康安全課長 繁野北斗氏からの講演では「産業廃棄物業界での安全衛生をめぐる現状と課題」、「事業場に求められる対応と国の支援」、「最近の化学物質管理」など幅広い内容を分かりやすく解説していただきました。特に、産業廃棄物処理業界のデータを具体的に数多く示しながらの講演は当業界にとって大変有益な内容でした。

・ミドリ安全株式会社 シニアテクニカルアドバイザー 田中通洋氏からのご講演は、1月23日の労働安全衛生パトロールを実例として、写真を多用して具体的に労働安全のポイント解説していただきました。リスクマネジメントの重要性を強調する一方で、「リスク評価に時間をかける」より「労働災害防止対策を実行する」ことがはるかに大事、と非常に実効性のある内容でした。また、「労働災害が起きていないからといって、決してリスクがないわけではない」「絶対安全はない。リスクをできる限り低くすることが最近の考え方」と示しました。

（3）事例発表

・次に、会員企業からの事例発表で株式会社杉浦土木 代表取締役 ト部智和氏から1月23日の労働安全衛生パトロールの内容を中心に、事業所の労働安全対策について解説していただきました。様々な試行錯誤を繰り返し、常に安全第一で対策を考えていることがよくわかる内容でした。今後のさらなる対策についても具体的に示すなど、大変、素晴らしい取り組み内容でした。

（4）安全宣言

大会の最後は、木下副会長のもと、参加者全員で「安全宣言」を行い盛況のうちに閉会しました。



亀井会長挨拶



繁野健康安全課長講演



田中ミドリ安全 SA 講演



ト部杉浦土木社長事例発表



木下担当副会長と参加者全員で安全宣言